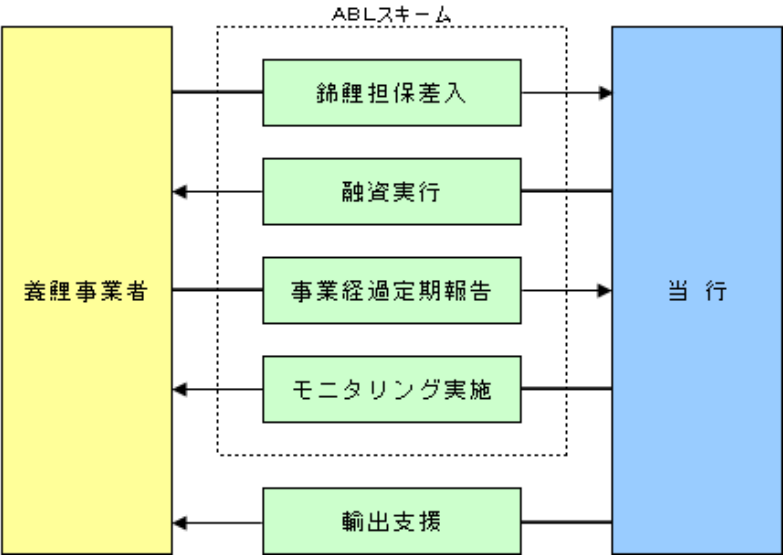


銀行名	北越銀行
タイトル	A B Lを活用した地域資源のブランド化支援
取組み内容	<p>【経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当行の本店が所在する長岡市の一部（旧山古志村一帯）などは、約 200 年前、「錦鯉」発祥の地とされ、現在は長岡市山古志地区で約 80 の事業者が養鯉業に従事している。 ・ 錦鯉は泳ぐ宝石と呼ばれ、中国や欧米の富裕層で近年人気が急速に高まっており、一匹数千万円で取引されるケースもある。 ・ このようななか、同地区で養鯉業を営む個人事業主 A は、生産した錦鯉の 80% を海外へ輸出するなど販路拡大等に取り組んできた。 ・ 長岡市も錦鯉を「市の魚」としてブランド化支援を打ち出し、当行も行政の取組みをバックアップし、一層の販路拡大および地域資源のブランド化を図るため、この錦鯉に着目した資金調達スキームを検討した。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業主 A とリレーションを図り、ニーズを把握するなかで、全国にも例のない錦鯉を担保とした A B L 契約を提案し、締結に至った。 ・ また、輸出取引にかかるフォローも継続的におこない、資金面全体の支援をおこなっている。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本件の全国初となる錦鯉を担保とした資金調達スキームの提供は、お客さまのニーズ充足と地域ブランド向上の支援を図ったもの。 ・ 引き続き、事業特性に着目した資金調達スキームを提供するなど、地場産業の活性化にむけた取組みを強化していく。  <p>The diagram, titled 'ABLスキーム', illustrates the relationship between the '養鯉事業者' (Fish Farmer) and the '当行' (Bank). It shows a cycle of financial and operational support. The bank provides '錦鯉担保差入' (Fish as collateral) and '融資実行' (Loan execution) to the farmer. In return, the farmer provides '事業経過定期報告' (Regular business progress reports) to the bank. Additionally, the bank offers 'モニタリング実施' (Monitoring) and '輸出支援' (Export support) to the farmer.</p>

銀行名	北越銀行
タイトル	自治体との連携による総務省の地域経済循環創造事業交付金の活用
取組み内容	<p>【経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当行は、26年10月に本店が所在する長岡市と「地域密着型包括連携協定」を締結し、人口減少など地域の課題解決にむけて「産・官・学・金」一体となった取組みを強化している。 ・ こうした取組みの一環として、当行は長岡市と連携し、総務省の地域経済循環創造交付金に関する申請手続のサポートをおこない、地域資源のブランド化や新規事業への参入などを支援している。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当行および長岡市は、交付金の仕組みや手続きなどの周知を図るため、広報や日頃の営業活動などを通じて地域企業などへの案内活動をおこなった。 ・ こうした活動を通じて相談を受付した企業の事業内容や申請要件について、当行と長岡市で整理・検証し、交付金申請先の選定を実施した。 ・ 交付金の採択にむけて、当行は事業計画の策定段階から申請手続きをサポートし、策定された資料内容を検証したうえで、長岡市は総務省に対する交付金申請をおこなった。 ・ また、交付金の採択には地域金融機関からの融資を受けることが条件となることから、当行は交付金申請のサポートとあわせて、融資条件などの検討をおこなった。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こうした取組みの結果、これまでに以下の3事業が採択され、当行は採択先に対して計133百万円の資金対応を予定している。 ・ なお、27年5月末時点で採択された全国215事業のうち新潟県は7事業。そのうち長岡市の3事業は県内市町村では最も多い採択件数となった。 <p>< 地域経済循環創造事業交付金の採択先 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 事業内容：間伐材等を活用したバイオマス発電事業等 (交付金額：15百万円) ”：長岡野菜を活用したディップソース製造販売 (交付金額：9百万円) ”：アレルギー材料を使用しない米粉クッキーの製造販売 (交付金額：30百万円)

銀行名	北越銀行
タイトル	「長岡まちなか民間活力創造研究会」の設立
取組み内容	<p>【 経 緯 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当行は、平成 26 年 10 月に地域の課題解決にむけた取組み強化を目的として、本店が所在する長岡市と「地域密着型包括連携協定」を締結し、長岡市中心市街地における民間プロジェクトの活性化・新規導入等を促進させることに取り組んでいる。 ・ また、長岡市は、アオーレ長岡（アリーナや市役所が一体となった市民交流の拠点）をはじめとする中心市街地において、「まちなか型行政サービス」や「市民協働によるまちづくり」を展開している。 ・ このまちなか活用の気運の高まりや長岡市が進めてきた市民協働のまちづくりに対して、当行は長岡市との共同により、民間活力を活かした P F I 等の事業モデルおよび中心市街地活性化対策について研究を行ってきた。 ・ こうしたなか、共同研究からステップアップを図るため、民間の具体的なアイデアの集積と「産・官・学・金」が連携した情報交換・まちづくり研究の場を創設し、新たなまちづくり構想を構築していく目的で、27 年 5 月に当行・長岡市・独立行政法人都市再生機構が事務局となり本研究会を設立したものの。 ・ あわせて、研究会に参画し、中心市街地の活力再生に向け意欲のある企業・団体を会員として募集を開始した。 <p>【 活動内容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タイムリーな政策情報の提供 ・ 中心市街地のまちづくりに関する勉強会・セミナー等の開催 ・ まちづくりに関する民間アイデアの意見交換、等 <p>【 効 果 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本研究会に全国より様々な業種の企業が参画を表明しており、27 年 7 月に第 1 回研究会を開催。 (50 を超える企業・団体が参加、研究会は年度 5 回開催予定) ・ 地域金融機関や行政法人と連携することにより、市民ニーズとマッチした魅力のある民間プロジェクトを誘発していく。 ・ 民間プロジェクト発動のなかで、地域経済の活性化や若者をはじめとする雇用創出へつなげていく。

銀行名	北越銀行								
タイトル	日本政策金融公庫との連携による「女性活躍応援連携融資パッケージ（通称：トプレディー）」の取扱開始								
取組み内容	<p>【経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本政策金融公庫と、平成 26 年 8 月に地域経済の活性化の促進および企業経営支援等を図ることを目的として包括的業務契約を締結。 平成 27 年 4 月に、日本政策金融公庫と連携して、女性経営者や女性起業家が事業を営む法人および女性の社会進出を支援する事業を営む法人を資金面でサポートする女性活躍応援連携融資パッケージ（通称：トプレディー）を構築し、取扱いを開始した。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象先要件 <table border="1" data-bbox="470 884 1455 1142"> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">対象先要件</td> <td>必須</td> <td>事業開始後 1 年以上経過し、決算を 1 期以上終えている</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">いずれかに該当</td> <td>女性が実質的に経営に従事している法人（代表者が女性である法人、または役員が 4 分の 1 以上が女性であり女性を積極的に登用している法人）</td> </tr> <tr> <td>女性の社会進出を支援する事業を営む法人</td> </tr> <tr> <td>女性の雇用を積極的に行っている法人（パート・アルバイト等を含む全従業員うち 4 分の 1 以上を雇用している。または新たに女性を 1 名以上雇用し、女性の割合が 4 分の 1 以上となること）</td> </tr> <tr> <td>今後 2 年以内に女性管理職比率を 10% 以上高める法人 今後 2 年以内に女性従業員比率を 10% 以上高める法人</td> </tr> </table> パッケージ図 <div data-bbox="466 1254 1455 1489" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <pre> graph LR A[融資のご提案] --> B[プロパー融資での検討] A --> C[日本公庫との連携] B --> D["戦略ファンド 新鮮力 事業活力 あおばファンド 創業応援ローン 地域活性化ローン 等"] C --> E["プロパー融資 + 日本公庫 (協調融資)"] </pre> </div> 対象先要件に該当する先について、プロパー融資または日本政策金融公庫との連携による融資を検討し取り組む。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 同時期に県内地銀 3 行が地方創生と女性活躍を連携して応援するための融資スキームを構築。日本政策金融公庫との協調融資においては、新潟県内第 1 号案件として 6 千万円を融資実行した。 また、本パッケージによる平成 27 年 4 月～8 月までの融資実績は 17 件、7 億円である。 	対象先要件	必須	事業開始後 1 年以上経過し、決算を 1 期以上終えている	いずれかに該当	女性が実質的に経営に従事している法人（代表者が女性である法人、または役員が 4 分の 1 以上が女性であり女性を積極的に登用している法人）	女性の社会進出を支援する事業を営む法人	女性の雇用を積極的に行っている法人（パート・アルバイト等を含む全従業員うち 4 分の 1 以上を雇用している。または新たに女性を 1 名以上雇用し、女性の割合が 4 分の 1 以上となること）	今後 2 年以内に女性管理職比率を 10% 以上高める法人 今後 2 年以内に女性従業員比率を 10% 以上高める法人
対象先要件	必須		事業開始後 1 年以上経過し、決算を 1 期以上終えている						
	いずれかに該当		女性が実質的に経営に従事している法人（代表者が女性である法人、または役員が 4 分の 1 以上が女性であり女性を積極的に登用している法人）						
			女性の社会進出を支援する事業を営む法人						
			女性の雇用を積極的に行っている法人（パート・アルバイト等を含む全従業員うち 4 分の 1 以上を雇用している。または新たに女性を 1 名以上雇用し、女性の割合が 4 分の 1 以上となること）						
		今後 2 年以内に女性管理職比率を 10% 以上高める法人 今後 2 年以内に女性従業員比率を 10% 以上高める法人							

銀行名	北越銀行
タイトル	独立採算型BOT方式によるPFI事業向けプロジェクトファイナンスの組成

取組み内容

【経緯】

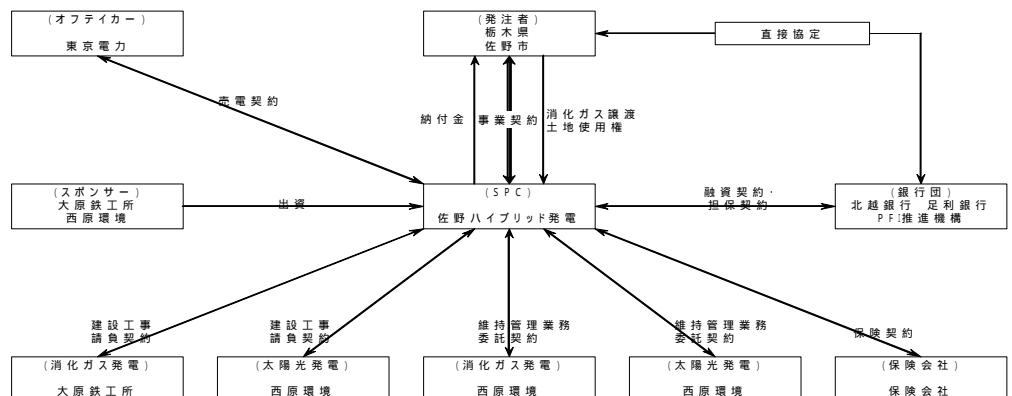
- ・平成26年4月に、発注者である栃木県及び佐野市は、秋山川浄化センター再生可能エネルギー発電事業について、民間の資金、経営力及び技術力の活用を図り、再生可能エネルギーの普及促進、エネルギーの地産地消を促進すること目的として事業者を公募。
- ・これに対し、消化ガス発電機に強みを持ち、全国的に事業展開している当行取引先が応募し、優先交渉権を得る。
- ・当行は、PFI推進機構の豊富な知識や、環境省が実施する「低炭素化プロジェクト専門家派遣事業」による審査ノウハウ等を有効活用し、独立採算型PFI事業に対して、単独アレンジャーとしてシンジケーション方式プロジェクトファイナンスを組成したものの。

【取組内容】

事業名称	秋山川浄化センター再生可能エネルギー発電事業（PFI事業）		
発注者	栃木県及び佐野市		
事業概要	栃木県が所有・管理する秋山川浄化センターの敷地に、汚泥消化工程においてメタン発酵により発生する消化ガス（バイオガス）を活用するための消化ガス発電施設を整備するとともに、太陽光発電施設を併設し、固定価格買取制度を活用した発電事業を行う。		
事業類型	独立採算型	事業方式	BOT方式
総事業費	約5.8億円		
事業期間	平成27年3月3日から平成48年3月31日（予定）（電力受給開始日から20年間）		
発電施設	消化ガス発電	250kW（マイクロガスエンジン 50kW×5台）	
	太陽光発電	940kW（太陽光パネル0.26kW×3,616枚）	
事業者	事業主体（SPC）	佐野ハイブリッド発電株式会社	
	代表企業	株式会社大原鉄工所	
	構成企業	株式会社西原環境	

【効果】

- ・当行のPFI事業向けプロジェクトファイナンスへの取組みは本件で5案件目（当行単独アレンジャーとしては初）となります。



銀行名	北越銀行
タイトル	地域貢献に関する取組み「北銀奨学会」
取組み内容	<p>【経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の有為な人材育成に貢献することを目的に、昭和 37 年、当行創業 85 年の折に、北越銀行独自の奨学金制度として「北銀奨学会」を設立。 ・ 設立以来 53 年経過するなか、毎年 25 名程度の大学進学者に奨学金を給付している。 ・ 卒業生は既に 1 千名を超えており、新潟県内において一番の歴史と規模を誇っている。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新潟県内の高等学校から進学された方を対象に、4 年間返還義務のない奨学金を給付している。 ・ 毎年夏に奨学生との懇談会を開催し、近況や将来などに関する話し合いの場を設けている。 ・ 26 年度は、卒業生が 1 千名を超えたことなどを機に、奨学生 O B の方による講演会を開催したほか、奨学生 O B の方々からの現役学生にむけた言葉をまとめた文集「思い出」を作成するなど、奨学生間の交流促進やネットワーク化を図っている。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当行経営目標である「お客さまの期待に応え地域に貢献する」という主旨のもと、その歴史と実績から当行を代表する社会貢献活動となっている。 ・ 多くの学生の皆様からも感謝の声をいただいております、本取組みによる地域貢献を継続していく。